

動画はこちらから→

いとう ひろよし
議員
伊藤 廣好

舟形中学校の 移転新築検討は熟議を 今後様々な視点から検討を進める



今後、移転が検討される舟形中学校

町長 第7次舟形町総合
発展計画において目標指
標（KPI）を設定して
おり、計画の最終年度で
ある令和11年度末に地元
定着人数を5人と設定し
ております。関係各課が
連携した受け入れ体制と

「義務教育一貫校の検
討」を実現するため、
移転新築検討委員会を設
置し検討すると答弁をされ
ました。

移転目標年度の舟中生
徒数は67名、舟小児童数
は108名に減少見込み、
移転から6年後の令和19
年度には舟中生徒数は45
名に減少見込みです。

「義務教育一貫校の検
討」を実現するため、
移転新築検討委員会を設
置し検討すると答弁をされ
ました。

教育長 当町が目指す戦
略人口を基として1学年
30名程度規模の学習空間
とする学校施設を創造す
る基本構想案としており、
現時点では「義務教育一
貫校」という言葉に規定
せず、様々な視点から
検討を進めていきたいと
考えております。

質問 舟形小学校の施設
を有効活用して、義務教
育学校設立を考えるべき
ではないのか。

質問 昨年の豪雨により、
町内各所で甚大な被害が
発生し、令和7年度は本
格的に復旧工事が始まる
年になると思われます。
各地区ごとに災害復旧工
事の内容、スケジュール
を提示すべきだと思いま
す。県管理の大石田畠線
瀬脇地内は通行止めが続
いています。復旧工事の
内容と計画を県から地元
住民に提示すべきだと思
いますが町長に伺います。

町長 新たに節目年齢人
間ドックの対象に、66歳
の方を追加し範囲を拡
大します。さらにワクチン
がん検診に前立腺がん
と設定しているが、がん
検診に関しては、がんの
各項目ごとに目標値を設
定すべきではないのか。

町長 特定健診受診率は、
令和7年1月末現在で60
%となっています。5種
類のがん検診平均受診率
は42.1%となつており、
町の保健福祉サービス
の配布、ホームページや
広報等により周知をして
います。また、今回新
たに令和11年度末の目標
値を設定しました。がん
検診については、平均値
ではなく各項目ごとに目
標値を設定しました。加
えてがん検診を受けて、
精密検査を勧められた方
に対する精密検査受診率
の目標値も設定し、早期
発見・早期治療のためフ
ォローしていきます。

町長 昨年12月定例会の
一般質問で令和13年度を
移転目標に舟形中学校移
転新築検討委員会を設置
し検討すると答弁をされ
ました。

町長 早期発見・治療に向け
てフォローする

質問 隊員の夢を叶える
ための支援の充実を。

町長 退任後の定住と生
活のため、起業や就職に
ついて、着任1年目、2
年目、3年目と段階的に
なっております。

質問 ち合せを行っています。

元地域おこし協力隊員が起業したレストラン ラ・テール
(舟形若あゆ温泉・あゆっこ村)

質問 移住・定住や二地
域居住相談窓口として町
にコーディネーター配置
が必要ではないか。

町長 町内で移住・定住
の相談窓口の適任者がい
れば集落支援員として考
えたいと思います。

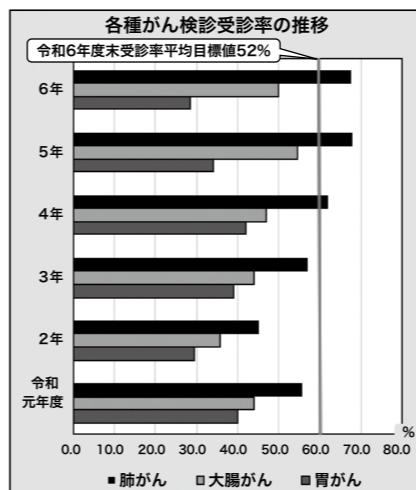
質問 移住・定住や二地
域居住相談窓口として町
にコーディネーター配置
が必要ではないか。

町長 退任後の定住と生
活のため、起業や就職に
ついて、着任1年目、2
年目、3年目と段階的に
なっております。

質問 ち合せを行っています。



←動画はこちらから



←動画はこちらから

あらざわ ひろみつ
議員
荒澤 広光

健康診断受診率・現状と新規目標値は

昨年度と同程度と見込んでおります。受診率向上のため対象者に、郵便や電話での勧奨や、冊子「町の保健福祉サービス」の配布、ホームページや広報等により周知をしております。また、今回新たに節目年齢人間ドックの対象に、66歳の方を追加し範囲を拡大します。さらにワクチンがん検診に前立腺がん検診の追加、また腹部超音波検査を個人負担100円で受診できる費用の助成、65歳以上のインフルエンザ予防接種助成費用を拡大するなどして健康寿命の延伸を推進してまいります。

町長 新たに節目年齢人間ドックの対象に、66歳の方を追加し範囲を拡大します。さらにワクチンがん検診を個人負担100円で受診できる費用の助成、65歳以上のインフルエンザ予防接種助成費用を拡大するなどして健康寿命の延伸を推進してまいります。



通行止めが続く大石田畠線（瀬脇地内）